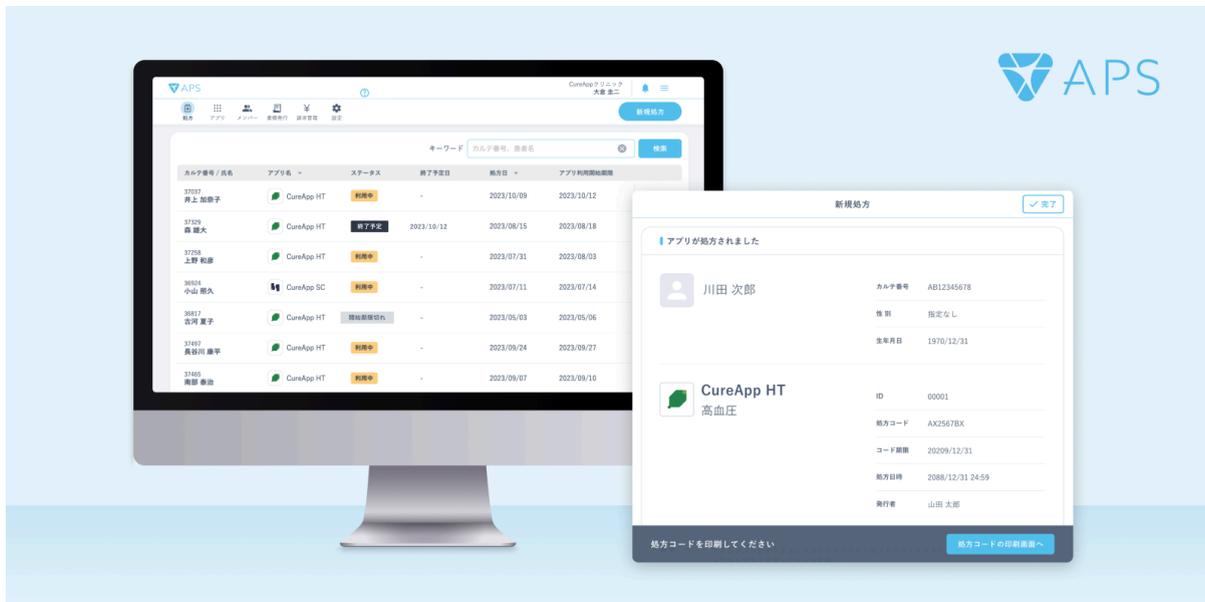


沢井製薬が、片頭痛向け医療機器の流通プラットフォームとして CureAppの「APS」を採用

株式会社CureApp（キュア・アップ / 本社：東京都中央区 代表取締役社長：佐竹 晃太：以下、当社）は、当社が提供する治療アプリ処方プラットフォーム「App Prescription Service」（以下、APS）が、沢井製薬株式会社（本社：大阪市淀川区 代表取締役社長：木村 元彦：以下、沢井製薬）の片頭痛向け医療機器「レリビオン®」の流通プラットフォームとして採用されたことをお知らせいたします。「レリビオン®」は2023年12月に沢井製薬が製造販売承認を取得している片頭痛の急性期治療に用いる医療機器です。今後「レリビオン®」が保険適用・販売開始された際には、APSを通し全国の医療機関で処方開始される予定です。APSでの他社製品の流通は「レリビオン®」が初となります。



当社は、治療アプリの処方プラットフォームであるAPSの医療機関への提供を2020年より開始し、提供開始当初より、当社製品に限らず様々な治療アプリの処方、利用状態の管理、代金回収、配送などの各種運用を統一の方式に揃えることで、医療機関がスムーズに患者様へ処方できる世界を目指してまいりました。現在全国の医療機関でAPSを通したニコチン依存症および高血圧症治療ア

問い合わせ先

株式会社CureApp 広報担当 Mail : pr-team@cureapp.jp

Tel 070-4473-3944 (担当：大目)

プリの処方が行われており、リアルなユーザーからの意見を反映させ日々プラットフォームの改良を行っております。「レリビオン®」は日本初の在宅で使用されるニューロモデュレーション機器であり、治療アプリとは異なるものの、患者さんご自身でデバイスを使用する医療機器であるという当プラットフォームとの親和性から今回の導入に至りました。

APSに関する医療機関の問い合わせ先はこちらからお願いいたします
<https://cureapp.co.jp/contact.html>

「APS」の概要と今後の展望

APSは医療機関がスムーズに治療アプリを処方できるよう開発された処方プラットフォームで、治療アプリの処方、利用状態の管理、代金回収、配送など治療アプリ処方に必要な各種運用を実行できます。統一されたフローで処方・管理まで完結するので、医療機関の運用負荷を低減することができます。また、治療アプリ提供企業のセキュリティ体制を当社が確認するため、医療機関には安心してご処方いただけます。現時点では治療アプリの処方プラットフォームとしての機能がメインとなりますが、今後はさらに広く医療機関のデジタル技術の活用を支援するプラットフォームとなることを目指してまいります。

「レリビオン®」とは

頭部に装着して使用する非侵襲型ニューロモデュレーション機器であり、経皮的に電気神経刺激を与えることによって、前兆期症状の有無に関係なく片頭痛急性期の疼痛を緩和する目的で使用されます。なお、片頭痛の急性期治療に在宅で使用されるニューロモデュレーション機器としては、日本で初めての承認取得となります。



沢井製薬プレスリリース
<https://www.sawai.co.jp/release/detail/625>

「APS」上で現在処方可能な製品

- CureApp SC ニコチン依存症治療アプリ及びCOチェッカー
- CureApp HT 高血圧治療補助アプリ

問い合わせ先

株式会社CureApp 広報担当 Mail : pr-team@cureapp.jp
Tel 070-4473-3944 (担当 : 大目)

沢井製薬株式会社について

「なによりも患者さんのために」という企業理念のもと、800品目以上のジェネリック医薬品を安定的に患者さんのもとへお届けするため、生産体制の強化に取り組むほか、独自の製剤化技術「SAWAI HARMOTECH[®]」を有し、高品質で付加価値の高い医薬品の開発も積極的に行っています。ジェネリック医薬品事業で患者さんに貢献することはもちろんのこと、新たな医療ニーズに応える事業にも挑戦を行っています。

株式会社CureAppについて

2014年に2名の医師により創業した医療系スタートアップで、治療効果が治験にて証明され医療現場で医師が患者に処方する「治療アプリ」を研究開発・製造販売する医療機器メーカー。

2020年、スマートフォンで動作する疾患治療用のソフトウェア医療機器として、禁煙治療領域において世界初^{*1}の薬事承認取得および保険適用となった。その後、高血圧症領域においても2022年4月に世界初^{*2}の薬事承認取得、同年9月に保険適用。その他、NASH / アルコール依存症 / がん / 慢性心不全 / 慢性腰痛症など複数の疾患に対する治療アプリの開発を進めている。

また、民間法人向けの健康増進サービスであるascureモバイルヘルスプログラムも運営し、「ascure卒煙プログラム（禁煙）」、「ascureDr.受診勧奨（高血圧）」、「ascure 重症化予防（血圧コース）」において、現在350法人（うち健康保険組合が267組合契約）で導入されている。

*1：自社調べ・調査年月：2020年12月・調査範囲：薬事承認および保険適用を受けたニコチン依存症向け治療アプリ

*2：自社調べ・調査年月：2022年9月・調査範囲：薬事承認および保険適用を受けた高血圧症向け治療アプリ

CureAppが取り組む事業

ニコチン依存症	2020年8月薬事承認取得、同年12月保険適用・処方開始
高血圧症	2022年4月薬事承認取得、同年9月保険適用・処方開始
NASH（非アルコール性脂肪肝炎）	サワイグループホールディングス株式会社と共同開発中 / 治験開始
アルコール依存症	独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター、岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院と共同研究治験を終え、製造販売承認申請中
がん	乳がん患者向け治療アプリを第一三株式会社と共同開発中
慢性心不全	医療法人社団ゆみのをパートナーに開発中
慢性腰痛症	福島県立医科大学と開発中

さらには、日本で生み出したモデルをベースに「日本発のデジタルヘルスソリューション」として、米国を中心にグローバルにおいても展開予定。

株式会社CureApp 会社概要

代表取締役社長：佐竹 晃太

本社所在地：東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル4階

事業内容：プログラム医療機器開発、モバイルヘルス関連サービス事業

URL：<https://cureapp.co.jp/>

問い合わせ先

株式会社CureApp 広報担当 Mail：pr-team@cureapp.jp

Tel 070-4473-3944（担当：大目）